

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	101	多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進				
総合計画	基本目標	V	行財政運営		主担当部課名	市民協働推進部 協働共創推進課
	基本施策	01	市民参加と協働によるまちづくり			
めざす姿	地域を構成する多様な主体が、まちづくりの方向性を共有し、共通する課題の解決や社会的な目的の実現に向けて、公益的な価値を相乗的に生み出す協働によるまちづくりを進めます。その中で、各主体が意見を出し合いながら、府中の新たな魅力や価値を共に創り上げることに積極的に取り組みます。					
SDGsとの関連						

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	320,723,000	289,852,000	295,858,000	311,081,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	3,500,000	599,000		
市債	0	0	0	0		
その他	53,779,000	0	42,030,000	14,000,000		
一般財源	266,944,000	289,852,000	250,328,000	296,482,000		
予算現額	338,723,000	301,252,000	295,858,000	0		
決算額	321,748,170	286,456,337	283,530,881	0		
国庫支出金	10,900,000	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	49,873,000	0	0	0		
一般財源	260,975,170	286,456,337	283,530,881	0		
執行率	95.0	95.1	95.8	0.0		
(人件費)						
職員数	5.20	6.00	7.00	0.00		
職員人件費	40,740,996	48,472,950	55,852,937	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	16,062,915	186,313	322,745	0		
総コスト	378,552,081	335,115,600	339,706,563	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 市と各活動団体が協働実施している事業数	181	実績	195	194	-	-	193
	件	達成率	101.0	100.5	0.0	0.0	
② 市民活動センターがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数	-	実績	29	31	-	-	24
	件	達成率	120.8	129.2	0.0	0.0	
③ 協働のコーディネーターの育成数	42	実績	71	82	-	-	72
	人	達成率	98.6	113.9	0.0	0.0	
④ ソーシャルビジネスの立ち上げ件数	9	実績	21	24	-	-	34
	件	達成率	61.8	70.6	0.0	0.0	

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	市民ニーズの多様化・複雑化に伴い、行政だけで将来すべての社会課題に対応していくことは困難と予想される。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
		市と各活動団体が協働で実施した事業の件数や、市民活動センターがコーディネートし各主体が新たに協働で実施した事業の件数が目標値を超えていることからコーディネート業務が成果をあげていることが伺え、課題解決の手段として協働が定着してきていると考えられる。またソーシャルビジネスの立ち上げ件数が増加しており、市民活動センターで実施している、社会的課題の持続的な解決を目指すための起業支援が成果として表れている。	
国・都の政策	都では、新しい価値の創造を目指すスタートアップ企業を、都庁と共に社会課題を解決し、未来を実現する重要なパートナーとして位置づけ、2022年2月に「スタートアップ協働戦略ver.1.0」を公表した。		
市民ニーズ	事業活動を通じて社会貢献を図るCSR活動が重視されるようになっており、企業・大学・民間団体等が市との協働を希望するケースが増えている。市民協働都市宣言をした市の協働の成果に期待している。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	市民協働推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 協働共創推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									A							
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 市と各活動団体が協働実施している事業数	181	計画値	184	187	190	193	193									
	件	実績	195	194	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		継続実施事業が多数あるほか、企業や学校との連携のコーディネートや共創の窓口を通じて実施に至った事業も加わったことで計画値を達成した。														
② 協働のコーディネーターの育成数	42	計画値	52	57	62	67	72									
	人	実績	71	82	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
要因の具体的内容		育成講座では実践的な講義や受講者同士のつながりを通じ、課題を可視化することで修了後の活動をイメージすることができた。														
事務事業名称	市民活動センター管理運営事業		主担当部課名	市民協働推進部 協働共創推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B							
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 市民活動センターがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数	-	計画値	24	24	24	24	24									
	件	実績	29	31	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		市民活動センターではコーディネートの相談に対し、多様な主体が強みを生かして社会課題の解決に取り組めるよう具体的な指針に努め、計画値を達成した。														
② ソーシャルビジネスの立ち上げ件数	9	計画値	19	24	29	34	34									
	件	実績	21	24	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		市民活動センターのソーシャルビジネスラボでは起業支援や会員同士の交流を図りラボの機能の活性化に努め、計画値を達成した。														
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
		計画値														
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値														
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	共創の窓口を設置し、広く民間等から提案を受ける体制を整備した。また、企業と地域が抱える建造物への落書きという課題を市民活動団体や参加者とともに解決するウォールアートを実施した。 社会課題を解決する人材の育成を目指してソーシャルビジネスの作り方を学ぶ「みんなら」事業を実施した。	共創の窓口には51件の提案があったと共に、価値共創促進事業を実施し市と民間の協働・共創の推進を図った。		
今後の展開	共創の窓口の体制整備により民間からの提案は順調に増加しているため、更に市民への還元性の高い協働事業数の増加に向けて価値共創促進事業を実施する。 また、「みんなら」については自立化に向けて調整等の支援を行う。	共創の窓口を継続して周知するとともに、質の高い協働事業を実施できるよう価値共創促進事業の採択方法を変更する。 また、新たに、子どもの社会貢献活動体験イベント奨励金を実施することで社会貢献活動の担い手づくりの支援を行うほか、クラウドファンディング型ふるさと納税活用公益活動支援事業補助金を実施することにより、市民同士の協働も推進していく。		

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針